

# 地域ブランドの創出を応援 街の魅力向上のために

近年の社会経済のグローバル化の進展に伴い、国際社会、特にアジア諸国の技術水準は飛躍的に向上し、競争力を高めてきています。このような情勢下で我が国の技術力を高め、国際競争力を維持・向上させるため、政府は「知的財産立国」を目指すことを宣言し、「知的財産推進計画」を策定したほか、関連する法制度を整備しています。

## 沖縄地域知的財産推進計画について

沖縄地域においては、知的財産を活用して地域経済の伸長を実現するための戦略を構築すべく、県内の行政機関、支援機関、大学、特許事務所等で構成する沖縄地域知的財産戦略本部を設置し、平成24年に策定した「沖縄地域知的財産推進計画」に基づき、沖縄地域の優位性を徹底的にいかすため、以下の3つの戦略を掲げ、取り組んでいます。

- ① 沖縄感性・文化産業振興への支援
- ② 地域資源のブランド化への支援
- ③ 中小企業海外展開への支援

また、これらの戦略を推進するため、「知財総合支援窓口」を設置し、知的財産の効果的な活用や企業への普及啓発、人材育成といった支援環境

の整備を進めています。

## 先進事例の紹介（沖縄市の取組）

沖縄市では、ものづくりを軸とした地域資源を幅広く活用することにより、沖縄市地域ブランドの確立及び沖縄市の魅力を向上させることで地域（経済）活性化を図ることを目的として、平成23年度に「沖縄市地域ブランド計画」を策定しました。



沖縄市のブランドコンセプト



沖縄市の魅力向上計画



PR活動（沖縄県産業まつり）

同計画の主要プロジェクトとして、優れた商品を公募し、商品開発やデザインナー等の各種専門家の審査を通して、沖縄市のトップブランドとして認定する制度「コザスター」、沖縄市の優れた地域資源の掘り起こしを目的として、市民を始め各種団体等の推薦により選定された「コザチョイス」を軸としてプロジェクトを行っています。

そのほかにも、「沖縄市地域ブランド推進事業補助金」、「ものづくりよろず相談窓口」などがあります。

## 「知財総合支援窓口」と沖縄市の連携

今回御紹介した沖縄市の取組では、認定マークの商標取得が課題の一つでしたが、知的財産に関する一元的な相談窓口として設置している「知財総合支援窓口（当局委託事業）」と連携することで、スムーズな商標権取得につながりました。

商標権を取得したことによって、認定マークの更なる認知度向上や認定対象商品への信頼性確保に貢献することが期待できます。

また、同窓口ではブランド化に係る専門家派遣も支援メニューとして用意しており、今後更なる連携も考えています。



コザスター認定マーク